



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月3日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <https://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 近藤 和宏

TEL 03-5977-5002

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	55,573	3.7	12,394	10.8	12,976	9.4	9,149	10.7
2022年3月期第3四半期	57,708	1.1	13,889	7.1	14,322	6.7	10,246	6.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 9,343百万円 (14.5%) 2022年3月期第3四半期 10,930百万円 (10.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	243.31	
2022年3月期第3四半期	269.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	167,767	140,704	83.5
2022年3月期	165,181	138,325	83.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 140,125百万円 2022年3月期 137,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		75.00		75.00	150.00
2023年3月期		75.00			
2023年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,500	3.3	7,500	56.0	8,100	53.8	6,100	36.1	162.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	45,939,730 株	2022年3月期	45,939,730 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	8,466,705 株	2022年3月期	8,121,361 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	37,603,351 株	2022年3月期3Q	38,031,458 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式が含まれております(2023年3月期3Q 33,400株、2022年3月期 38,500株)。また、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期3Q 35,551株、2022年3月期3Q 38,867株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、減収減益となりました。

売上高は 55,573 百万円(対前年同期比 3.7%減)となり、その減収の主たる要因としては、薬価改定の影響があげられます。

利益面では、売上高の減少及び販売費及び一般管理費の増加等により、営業利益は 12,394 百万円(対前年同期比 10.8%減)、経常利益は 12,976 百万円(対前年同期比 9.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 9,149 百万円(対前年同期比 10.7%減)となりました。販売費及び一般管理費が増加した主たる要因は、研究開発費が対前年同期比 4.6%増加し、6,310 百万円となったためであります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①薬業

医薬品・医療機器につきましては、関節機能改善剤「アルツ」、癒着防止吸収性バリア「セプラフィラム」等の売上減少により減収となりました。その背景としましては、薬価改定の影響等があげられません。

農業薬品につきましては増収となりました。

この結果、売上高は 53,753 百万円(対前年同期比 3.9%減)、セグメント利益(営業利益)は 11,433 百万円(対前年同期比 11.3%減)となりました。

なお、海外売上高は 4,616 百万円(対前年同期比 11.8%増)となりました。

②不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は 1,820 百万円(対前年同期比 1.0%増)、セグメント利益(営業利益)は 960 百万円(対前年同期比 3.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は 167,767 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,586 百万円の増加となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の増加によるものであります。

負債は 27,063 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 207 百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

また、純資産は 140,704 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,378 百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

自己資本比率は、83.5%(前連結会計年度末 83.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績につきましては、増収増益を見込んでおりましたが、競合品の影響等もあり、医薬品・医療機器の売上が当初の想定ほど伸長しない見通しとなったことから、全体としては減収を見込んでおります。利益につきましては、売上高の減少及び2023年1月に導入した先天性副腎過形成症治療剤「チルダセルフォント」と原発性胆汁性胆管炎治療剤「セラデルパー」の契約一時金、合計約6,500百万円の支払いにより、研究開発費が当初計画の10,400百万円から16,600百万円と大幅に増加する見通しであることから、減益となる予定であります。以上を踏まえ、2022年5月11日に公表した業績予想を修正し、売上高は73,500百万円、営業利益は7,500百万円、経常利益は8,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6,100百万円を見込んでおります。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,025	55,858
受取手形、売掛金及び契約資産	20,260	25,339
有価証券	13,599	14,699
商品及び製品	5,807	8,089
仕掛品	2,964	2,700
原材料及び貯蔵品	6,209	6,032
その他	746	771
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	110,613	113,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,142	16,486
その他（純額）	8,591	8,457
有形固定資産合計	25,734	24,944
無形固定資産		
仕掛研究開発	7,300	7,300
その他	936	1,172
無形固定資産合計	8,236	8,472
投資その他の資産		
投資有価証券	17,093	17,501
その他	3,503	3,355
投資その他の資産合計	20,596	20,857
固定資産合計	54,567	54,274
資産合計	165,181	167,767

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,861	7,552
電子記録債務	78	120
短期借入金	3,850	3,850
未払法人税等	2,436	1,509
賞与引当金	984	464
その他	5,838	5,916
流動負債合計	19,049	19,413
固定負債		
株式給付引当金	106	70
退職給付に係る負債	5,039	4,925
繰延税金負債	2,229	2,229
その他	431	424
固定負債合計	7,806	7,649
負債合計	26,855	27,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,406	11,406
利益剰余金	126,347	129,844
自己株式	△28,714	△30,026
株主資本合計	132,893	135,078
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,551	4,698
退職給付に係る調整累計額	301	349
その他の包括利益累計額合計	4,853	5,047
非支配株主持分	578	578
純資産合計	138,325	140,704
負債純資産合計	165,181	167,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	57,708	55,573
売上原価	25,689	25,010
売上総利益	32,019	30,562
販売費及び一般管理費		
給料	4,287	4,211
賞与及び賞与引当金繰入額	966	909
退職給付費用	281	256
研究開発費	6,035	6,310
その他	6,559	6,480
販売費及び一般管理費合計	18,129	18,168
営業利益	13,889	12,394
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	387	428
補助金収入	—	114
その他	84	52
営業外収益合計	477	600
営業外費用		
支払利息	12	12
為替差損	20	1
その他	11	4
営業外費用合計	44	18
経常利益	14,322	12,976
特別利益		
固定資産売却益	195	2
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	195	4
特別損失		
固定資産除却損	60	34
減損損失	—	304
特別損失合計	60	338
税金等調整前四半期純利益	14,457	12,641
法人税等	4,211	3,492
四半期純利益	10,246	9,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,246	9,149

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	10,246	9,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	624	146
退職給付に係る調整額	59	47
その他の包括利益合計	684	193
四半期包括利益	10,930	9,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,930	9,343
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2022年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を350,000株、1,338百万円取得いたしました。

なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は8,466,705株、30,026百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	54,882	—	54,882	—	54,882
製品の販売等に関する ライセンス契約	1,024	—	1,024	—	1,024
顧客との契約から生じる 収益	55,906	—	55,906	—	55,906
その他の収益	—	1,802	1,802	—	1,802
外部顧客への売上高	55,906	1,802	57,708	—	57,708
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	55,906	1,802	57,708	—	57,708
セグメント利益(営業利益)	12,891	998	13,889	—	13,889

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、株式を取得したことによりARTham Therapeutics株式会社を連結の範囲に含めております。

これにより、「薬業」セグメントにおいてのれんが317百万円発生しております。

なお、当該のれんは、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	52,420	—	52,420	—	52,420
製品の販売等に関する ライセンス契約	1,332	—	1,332	—	1,332
顧客との契約から生じる 収益	53,753	—	53,753	—	53,753
その他の収益	—	1,820	1,820	—	1,820
外部顧客への売上高	53,753	1,820	55,573	—	55,573
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	53,753	1,820	55,573	—	55,573
セグメント利益(営業利益)	11,433	960	12,394	—	12,394

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

「薬業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては304百万円であります。